



大樹

岩田小学校だより No.13

令和2年10月7日

学校教育目標

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

先週の岩っ子ウォークでは、岩っ子グループで地域のすてきな場所へ行ったり、地域の人にお話を伺ったりしました。改めて、岩田地区の魅力を再発見することができました。協力していただいた地域の皆様に感謝申し上げます。

10月会礼 校長の話 【思いやり算を広げよう】

1学期6月の会礼で、この話をしました。

「〇〇〇」はだれにも見えないけれど
「〇〇〇づかい」は見える
「□□□」は見えないけれど
「□□□やり」はだれにでも見える

「こころ」はだれにも見えないけれど
「こころづかい」は見える
「おもい」は見えないけれど
「おもいやり」はだれにでも見える

どんな言葉だったか覚えていますか？（「心づかい」・「思いやり」を確認）

だれにでも見える「思いやり」が、みなさんの周りにはいっぱいになっていますか？今日は「思いやり」についてみんなで考えてみます。

3年生・4年生・6年生は今年、そして5年生は去年、人権教室で教わりました。「思いやり」の算数があります。「思いやり算」といいます。人を笑顔にする算数です。「笑顔いっぱい」を目指している岩田小には、ぴったりの算数ですね。

「+たす」は、「たすけあう」「助け合う」と大きな力に

運動会に向かったの準備でも、助け合うと大きな力になりますね。

「-ひく」は、「ひきうける」「引き受ける」と喜びが生まれる

進んで引き受けると、どちらも喜びが大きくなりますね。

「×かける」は、「声をかける」「声をかける」と一つになれる

みんな、一人ぼっちじゃないね。

「÷わる」は、「わけあう」「分け合う」と笑顔が返ってくる

笑顔いっぱいになっていくね。



この算数は計算のきまりがありません。どれから先にやってもいいのです。いくつやってもいいのです。「たすけあう」「ひき受ける」「声をかける」「わけあう」この思いやりは、誰の目にも見えるのです。増えれば増えるほど「笑顔いっぱい」になります。

でも一つだけ気を付けていきたいことがあります。例えば「声をかける」です。どんな言葉をやってもいいのですか？（子供たちの反応に応じて、かける言葉を考えさせました。）では、嫌な言葉や悪口でなければ、どんな言い方をしてもいいのですか？（同じ内容の言葉でも、言い方によって相手の気持ちがどう変わるか考えさせました。）自分で考えるだけではなく、クラスの友達とも話し合ってみましょう。

「思いやり」をいっぱいにする「思いやり算」を岩っ子みんなの力で広げていきましょう。そのときに気を付けることは、どの言葉を使うか、どんな言い方をするかです。

最後に、詩を紹介します。星野富弘さんが書いた詩です。

鏡に映る顔を見ながら思った
もう悪口をいうのはやめよう
私の口から出たことばを
一番近くで聞くのは
私の耳なのだから

